

# 四国生乳販連ニュース

四国四県の生産者と連合会をつなぐコミュニケーション紙

## 第32号

発行日／平成27年 8月31日

発行所／四国生乳販売農業協同組合連合会

〒760-0023 香川県高松市寿町1丁目1番12号

編集・発行人／菊川 時彦



## 第15回通常総会

平成27年7月27日、香川県高松市アルファあなぶきホール大会議室において、農林水産省及び四国各県行政・全国連・会員団体等多数の来賓ご臨席のもと、第15回通常総会を開催いたしました。柳瀬会長の主催者挨拶の後、ご来賓を代表して、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課 金澤課長補佐、中央酪農会議 内橋事務局長よりご祝辞を頂戴いたしました。その後全国農業協同組合連合会高知県本部の濱口副本部長が議長として選任され、議案の審議に入りました。

第1号議案「平成26年度事業報告及び剰余金処分案承認の件」及び附帯決議案について、原案どおり可決承認されました。



～平成26年度事業報告の概要～

### ○生乳共販事業

生乳販売量は123,754ト、取扱計画比96.8%、前年比96.2%。用途別販売の動向は、飲用等向け（飲用向け、学乳向け、はっ酵乳等向けの合計量）・前年比97.0%。特定乳製品向け（加工向け）は4,646ト・78.6%、加工比率は、3.8%と前年度（4.6%）を下回った。その他、生クリーム向け・前年比100.2%と同程度、チーズ向け・83.9%と減少。

生乳販売高は、138億5,706万円、計画比98.0%、前年比98.9%、これに対する1kg当り販売単価（成分加算金含む）は111円97銭。

### ○乳価・集送乳経費の平準化

四国の手取乳価（成分加算金1.33円/kg含む販連プール乳価－集送乳経費＝手取乳価）は、105円34銭/kg。前年度実績比2円70銭/kgの上昇。

プール乳価は、111円97銭/kg（成分加算金含む）・前年比3円8銭/kgの上昇。この主な要因は、飲用向け（学乳含む）価格の値上げ及び乳製品用途（生クリーム、チーズ、加工）価格の値上げ、有利販売等によるもの。

四国全体の集送乳経費の実績は8億1,995万円、受託乳量当り6円63銭/kgで前年度より約38銭/kgの上昇。この主な要因は、①合理化対策費の減少、②香川中央CS移設・増設、③日酪香川工場、四国乳業坂出工場閉鎖に伴う送乳経費の増高等によるもの。

### ○生乳計画生産対策

四国の目標数量は中央からの配分を受けた、129,778トﾝ・前年実績比101.0%を設定し、会員へは実績に基づき一律配分を行った。

しかし、四国の生産基盤の脆弱化に歯止めがかからず、実績は123,613トﾝ・前年比96.2%と、目標数量に対して約6,165トﾝの未達、25年度実績に対して約4,880トﾝの生産減となった。

### ○生乳検査業務

(1)平成26年度の検査料金は、従来と同様、配分検査26銭/kg、牛群検定95円/検体、依頼検査95円/検体(成分・体細胞)、200円/検体(細菌)で実施。

総検体数は192,739検体(計画比96.5%)、検査料収入は約46,850千円(前年実績比96.9%)となり、検査委託料、検査消耗品、検体輸送料等の経費と検査機器更新積立金(8,500千円)に充当した。(26年度末検査機器更新積立金総額は約53,851千円)

(2)統一乳質規制によるペナルティー対象は、乳成分・体細胞・細菌全体で金額1億4,286万円、対象人数延べ3,487人で、前年と比べ人数は213人減少、金額では430万円の増加となった。細菌数ペナルティー金額(約19万円)及び乳成分ペナルティー金額(約157万円)は減少しているが、体細胞数ペナルティー金額(約607万円)が増加した。

### ○牛乳消費拡大地域活動

牛乳定着化事業「MILK JAPAN」に、中央と連携して取り組んだ。また、昨年に引き続き穴吹動物看護カレッジと共催し、四国地域酪農教育ファーム推進委員会のご協力のもと、酪農体験イベントを開催したほか、中四国農政局主催、中国生乳販連と本会共催で「牛乳が好き。」MILK JAPAN中国四国フォトコンテスト2014を開催した。

### ○酪農教育ファーム活動

認証牧場8戸(徳島3、香川4、高知1)の各牧場で酪農体験会や出前授業などを実施し、子ども達や一般消費者を対象に、酪農の理解醸成活動を実施している。また、(一社)中央酪農会議の「平成26年度酪農教育ファーム地域活動推進支援事業」を活用し、学校側に体験料やバス賃借料の経費助成を実施した。25校約1,500名がこの事業を活用して体験会を実施した。

また新たな取組みとして、香川県内の認証牧場(4牧場)によるオープンファーム(無料酪農体験会)を開催した。新聞広告で参加者を募り、各牧場で酪農体験や乳製品を使った体験・試食会を実施し、1か月間で約260名の体験を支援した。一般消費者への反響が大きく、体験者にも認証牧場にも大変好評を得た取組みとなった。

### ○補助事業の実施

加工原料乳生産者補給金の交付事務、加工原料乳生産者経営安定対策事業、加工原料乳供給安定緊急特別対策事業、を実施し、会員・農協を通じて生産者に助成金等を交付した。

また、生乳需要基盤強化対策事業(生乳生産者需要確保事業)を活用し、酪農体験イベントと新聞告知(四国新聞・オアシス 発行部数約21万部)を活用したオープンファームを開催した。

## ～貸借対照表～

平成27年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	1,639,656	I 流動負債	1,457,013
1.預金	305,238	1.事業未払金	1,313,180
2.事業未収金	1,307,966	2.事業未精算債務	24,649
3.事業未精算債権	35,259	3.雑負債	109,990
4.雑資産	5,842	3.法人税等	6,309
5.貸倒引当金	△14,649	4.未払消費税	2,885
II 固定資産	3,819	II 固定負債	61,069
1.有形固定資産	73,803	III 引当金	4,531
(減価償却累計額)	△73,205	負債の部合計	1,522,613
2.無形固定資産	4,122	I 出資金	100,000
(減価償却累計額)	△3,921	II 利益準備金	10,000
3.外部出資	3,020	III 繰越利益剰余金	10,862
		(うち当期利益剰余金)	(6,630)
		純資産の部合計	120,862
資産の部合計	1,643,475	負債及び純資産合計	1,643,475

## ～損益計算書～

平成26年4月1日～平成27年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業総利益	45,009
(事業収益)	(13,857,060)
(事業費用)	(13,815,475)
(検査事業収益)	(46,849)
(検査事業費用)	(43,425)
II 事業管理費	56,343
事業損失	11,334
III 事業外収益	104,700
IV 事業外費用	77,938
経常利益	15,428
V 特別損失	2,489
税引前当期利益	12,939



## 生乳受託販売委員会の委員の変更

本会役員の一部改選に伴い、本会の生乳受託販売委員が以下の通り選任されました。なお、任期は26、27年度の2年間です。

### 生乳受託販売委員会委員名簿

区 分	氏 名	所属団体等
会 長	柳 瀬 一 範	四国生乳販連 代表理事会長
連合会の役員	原 浅 之	四国生乳販連 副会長理事
連合会の役員	木 村 保 夫	四国生乳販連 代表監事
連合会の役員	和 氣 茂 太 ※	四国生乳販連 理事
徳島県の区域	片 岡 寛 之	徳島県酪農協 副組合長理事
//	高 瀬 敏	徳島県酪農協 理事
//	向 将 勝	徳島県酪農協 代表監事
香川県の区域	赤 松 省 一	香川県生乳受託販売推進協議会 会長
//	佐々木 英 樹	香川県生乳受託販売推進協議会 委員
//	西 野 豊	香川県生乳受託販売推進協議会 委員
愛媛県の区域	古茂田 忠 典	愛媛県酪農協同組合連合会 常務理事
//	京 森 高 賀	愛媛県酪農協同組合連合会 会長
//	門 山 茂 樹	愛媛県酪農協同組合連合会 副会長
高知県の区域	桑 鶴 精 二	高知県酪農連合協議会 会長
//	濱 口 承 一	高知県酪農連合協議会 副会長
//	眞 嶋 順 一	高知県酪農連合協議会 理事

※新任委員

## 加工原料乳等生産者経営安定対策事業について

独立行政法人農畜産業振興機構より、平成26年度平均取引価格及び平成27年度補填基準価格についての通知がありました。平成27年度の生産者抛出金単価と合せて、以下のとおりお知らせ致します。

平成26年度脱脂粉乳・バター等向け生乳平均取引価格	78.90円/kg
平成27年度脱脂粉乳・バター等向け生乳補填基準価格	76.36円/kg
平成26年度チーズ向け生乳平均取引価格	62.81円/kg
平成27年度チーズ向け生乳補填基準価格	54.85円/kg
平成27年度生産者抛出金単価	0.25円/kg



# 生乳取引をめぐる情勢について

## I 酪農をめぐる情勢

- (1) 消費税増税の延期や賃金上昇を受け、景気は回復傾向にあるとされている中、物価の伸びに賃金が追いついているかを示す実質賃金指数は前年より▲0.1%で25ヶ月連続マイナスとなっている。27年度は春先から値上げラッシュとなり、7月以降も相次いで食品・日用品の値上げが予定されている。また、TPP交渉は、米国にてTPA法が成立し、7月28日～31日まで閣僚会合が開催された。
- (2) こうした中、全国の生乳需給の状況は、生乳生産量が前年比99.8%（4-5月）とほぼ前年並み、牛乳等向け需要は前年比101.3%（4-5月）と堅調に推移している。農林水産省は今後の見通し等を踏まえ、5月27日にバター1万トン、脱脂粉乳5千トンの追加輸入を決定した。国内の乳製品需要は、関係者がバターの製造量を増やしているものの、タイトな状況が継続されている。
- (3) 畜産統計によると平成27年2月1日現在の飼養戸数は減少し（前年比▲4.8%）、家畜改良センターの個体識別データによれば2歳以上の雌牛及び2歳未満の飼養頭数も共に減少している（対前年比較で共に▲1万頭以上）。また、配合飼料価格は、一時3ドル/ブッシュェル台まで下がっていた米国産トウモロコシのシカゴ相場が天候の悪化等により4ドル/ブッシュェル台に上昇し、次期（10-12月期）配合飼料価格の値上がりの可能性が高まっている。輸入粗飼料についても円安などによる高止まりが続く見通しである。

## II 27年度の取引乳価など

- (1) 前年度の乳価交渉は、決着が遅れ今年4月から値上げとなった。また、27年度分の乳価については、乳価値上げから期間が経っていないことから、当面は他地域団体との情報交換等に努め、今後の飼料価格・為替の推移など、状況を見極めて進めていく現況にあります。
- (2) 平成27年度の取引乳価は、4月1日より①飲用等向け（学乳含む）+3円/kg、②生クリーム向け+3円/kg、③チーズ向け+5円/kg、④加工向け+2円/kgに改定され取引継続している。
- (3) 上記、乳価値上げに伴う乳価の上昇水準は、26年度実績に基づく試算で、+2.95円/kg。これに対して、27年度実績は7月末時点で+3.16円/kgであり、乳価値上げ以上の上昇を確保している。

# 7月までの乳価

(単位:kg,円)

	受託乳量	販売金額 (成分加算金含まず)	プール乳価	前年差	成分加算金 平均単価	平均 受取単価
4月	10,467,339	1,169,624,946	111.74	+3.79	1.19	112.93
5月	10,646,465	1,207,759,974	113.44	+3.42	1.05	114.49
6月	9,952,934	1,140,357,549	114.58	+2.29	1.08	115.66
7月	9,764,530	1,121,187,139	114.82	+2.99	1.06	115.88
累計	40,831,268	4,638,929,608	113.61	+3.16	1.10	114.71

## 平成26年度乳質改善共励会の結果報告

日頃より、良質乳の生産にご尽力いただき、ありがとうございます。

平成24年度から、各県会員団体で実施している乳質改善共励会に協賛し、以下のとおり各県最優秀賞受賞者に対して、「四国生乳販連会長賞」の賞状及び副賞10万円を授与いたしました。

良質乳生産に対して深謝いたしますとともに、今後も高品質かつ安全・安心な生乳生産を通じ、当連合会の生乳販売業務への一層のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

	表彰日	最優秀賞受賞者
徳島県	6月29日	和田久夫
香川県	7月30日	植田恵美子
愛媛県	3月7日	萱原誠司
高知県	3月25日	小谷 恵

## バルク室の衛生管理、施設管理改善に係る認証について

当認証制度は、酪農業の発展と酪農経営の安定を図り、新鮮で良質な生乳を消費者に供給すると共に、生乳の広域流通にも対応しうる乳質向上により、生乳の有利販売に繋げていくことを目的としております。ご活用いただき改善に向けた取組みをお願い致します。

### 1. 主催

この認証の主催は、四国生乳販売農業協同組合連合会とする。

### 2. 参加資格

参加者は、四国域内で酪農業を営む者で、四国生乳販売農業協同組合連合会に生乳販売を委託する者とする。

### 3. 審査・判定及び認証

- (1) 毎年度、上期（7月～9月）・下期（2月～3月）の2回審査を実施する。
- (2) 審査については、認定審査表に基づき実施する。
- (3) 上期審査時に、改善必要項目がある場合は、具体的な改善内容を当該牧場と協議・確認する。
- (4) 下期審査時に、認定審査表の各項目が全て良好な場合は、当該牧場の認証が決定する。改善必要項目がある場合は、具体的な改善内容を当該牧場と協議・確認する。

### 4. 認証日及び有効期間について

#### (1) 認証日

下期の審査日を認証日及び更新日とする。

#### (2) 有効期間

1年毎に更新

# 平成27年度の生乳需給をめぐる情勢（7月まで）

## 1. 平成27年度7月までの受託販売実績（生乳生産）の動向

### (1) 全国

- 7月までの累計の生産動向（受託乳量）は、北海道1,288千ト（前年比101.6%）、都府県1,144千ト（同99.8%）、全国2,432千ト（同100.7%）と、全国的に堅調である。

### (2) 四国

- 7月末までの累計で、40,785ト（前年比95.1%）。
- 県別では、徳島10,954ト（同97.3%）、香川12,021ト（同99.3%）、愛媛10,372ト（同87.1%）、高知7,438ト（同97.7%）。

《全国・北海道・都府県と四国の受託販売実績》

単位：ト・%

地 域	第1四半期合計		7 月		累 計		出荷農家戸数 (7月末)
		前年比		前年比		前年比	
北海道	962,041	101.3	326,426	102.3	1,288,467	101.6	
都府県	866,972	99.3	276,797	101.5	1,143,769	99.8	
全 国	1,829,013	100.3	603,223	102.0	2,432,236	100.7	
四 国	31,030	94.4 (97.4)	9,755	97.5 (100.6)	40,785	95.1 (98.1)	367戸
徳島県	8,309	96.5	2,644	100.0	10,954	97.3	110戸
香川県	9,124	97.9	2,897	103.7	12,021	99.3	88戸
愛媛県	7,901	86.6	2,471	88.8	10,372	87.1	112戸
高知県	5,696	97.7	1,742	97.7	7,438	97.7	57戸

※参考：第1四半期（内訳）

地 域	4 月		5 月		6 月	
		前年比		前年比		前年比
北海道	311,255	101.1	329,135	101.2	321,651	101.6
都府県	289,874	98.5	297,383	99.1	279,714	100.4
全 国	601,130	99.8	626,518	100.2	601,365	101.0
四 国	10,455	93.4 (96.4)	10,634	93.7 (96.7)	9,941	96.1 (99.1)
徳島県	2,790	94.9	2,855	96.6	2,664	97.9
香川県	3,038	96.8	3,121	96.8	2,965	100.4
愛媛県	2,654	84.4	2,721	86.3	2,526	89.5
高知県	1,973	100.5	1,937	96.3	1,786	96.4

※四捨五入の関係上、合計値が一致していないことがあります。  
 ※北海道・都府県・全国・の前年比は、アウト・イン修正した数字です。  
 ※四国の前年比は（ ）内がアウト・イン修正した数字です。  
 ※四国の実績につきましては、公共分乳量が含まれていません。

## 2. 四国の用途別販売実績の動向

- 7月までの累計で、飲用等向けは38,372ト (前年比95.1%)、特定乳製品向け(加工向け)は1,694ト(前年比93.4%)と減少している。
- 用途別比率は、飲用等向け(飲用向け+学乳向け+はっ酵乳等向け)が94.0%、特定乳製品向け(加工向け)が4.1%。

単位：ト・%

用途	第1四半期		7月		累計		用途別比率
		前年比		前年比		前年比	
飲用向け	26,793	93.6	8,842	96.7	35,635	94.4	87.3
学乳向け	1,237	96.6	287	92.0	1,524	95.7	3.7
はっ酵乳等向け	914	120.8	299	133.8	1,213	123.8	3.0
飲用等向け	28,944	94.4	9,428	97.4	38,372	95.1	94.0
特定乳製品向け	1,550	91.9	144	112.7	1,694	93.4	4.1
生クリーム向け	518	99.2	179	93.6	697	97.7	1.7
チーズ向け	18	118.4	4	48.9	22	94.4	0.1
公共向け	36	90.4	10	80.3	46	88.1	0.1
総受託乳量	31,066	94.4	9,765	97.5	40,831	95.1	100.0

※参考：第1四半期(内訳)

用途	4月		5月		6月	
		前年比		前年比		前年比
飲用向け	8,784	94.2	9,249	93.5	8,760	93.1
学乳向け	325	98.3	413	88.7	499	103.1
はっ酵乳等向け	287	116.3	318	120.0	309	126.3
飲用等向け	9,396	94.9	9,980	94.0	9,568	94.4
特定乳製品向け	892	79.7	472	86.3	186	906.2
生クリーム向け	160	99.0	175	101.1	183	97.5
チーズ向け	7	145.3	7	89.2	4	158.1
公共向け	12	96.3	12	89.8	12	85.6
総受託乳量	10,467	93.4	10,646	93.7	9,953	96.1

※四捨五入の関係上、合計値が一致していないことがあります。





# フォトコンテスト 写真募集中

## 「牛乳が好き。」MILK●JAPAN™ 中国四国フォトコンテスト2015

昨年最優秀賞受賞作品



乳牛とのふれあいの部  
「新しい友達?!」



牛乳・乳製品の部  
「もうおなかいっぱい!」

募集部門	① 牛乳・乳製品の部	牛乳を飲んでいる(又は乳製品を食べている)姿。なお、商品を特定できるものは審査対象外となりますので、お気を付け下さい。 また、乳製品については、作品内でその使用が判別できるものとします。
	② 乳牛とのふれあいの部	乳牛、酪農とふれあう姿。なお、牧場での写真撮影の際は、牧場の責任者に許可を得た上でその指示に従って下さい。
応募資格	中国四国地域在住の方	
応募作品	応募者本人が撮影した未発表作品で、人物が被写体となっている場合、被写体(人物が未成年者の場合はその保護者)の了承を得たもの。	
応募点数	各部門につき、2枚まで。	
応募締切	9月25日(金) 当日消印有効	
応募方法	①プリント応募 サイズはA4とし、作品の裏面に住所、氏名、作品のタイトルを記入した上で、 ②CD応募 CDに焼き付け時に、「USBメモリと同様に・・・」で処理して、CDケースの裏面に住所、氏名、作品のタイトルを記入したメモを貼付した上で、 応募票に必要事項を記入したものを添付して提出して下さい。	
問合せ先	◆中国四国農政局 生産部畜産課 ◆四国生乳販売農業協同組合連合会	電話 086-224-4511(代) 畜産振興第1係(内線2455) 畜産経済第1係(内線2457) 電話 087-822-8151
詳しい内容や応募票は、中国四国農政局のWEBサイトをご覧ください。		
牛乳が好きフォトコンテスト2015 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">検索</span>		

見るともっともっと牛乳や牛が好きになるような写真をお待ちしております。

## 酪農教育ファーム 認証牧場募集中

酪農教育ファームは、「酪農体験を通して食といのちの学びを支援する」ことを目的に、一般社団法人中央酪農会議から認証を受けて、酪農家が主に学校や教育現場などと連携して行う体験学習活動です。現在四国では8牧場・20名が認証を受け、牧場での酪農体験等の活動を行っています。

認証には2種類あります。

### ■ファシリテーター認証：

牧場の仕事を分かりやすく伝えるための研修（認証研修会）を受けた酪農家・牧場スタッフや関係団体の方が取得できます。

### ■牧場認証：

安全に酪農体験ができるよう整備されている牧場であることと、牧場での体験会に対応できるファシリテーターが必要です。

### 認証取得の流れ

認証申請書を販連に提出（10月末まで）⇒販連及び管轄農協職員による現地審査（10～11月）  
⇒認証審査委員会による書類審査（12月）⇒認証研修会の受講（1～2月）⇒認証決定（3月）

認証を取得すると、安全衛生面や牧場体験に係る情報の提供や来場者に配布できる教材の提供、体験会への支援などが受けられます。

認証規定等の詳しい内容は、中央酪農会議の「酪農教育ファーム」ホームページをご覧ください。か、四国生乳販連（TEL：087-822-8151 MAIL：milk@shikoku-hanren.com）までお問合せください。



## 四国生乳販連・行事だより

会議名		協議内容・報告事項
開催月日	場 所	
第11回四国地域酪農教育ファーム 推進委員会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度酪農教育ファーム活動報告</li> <li>・27年度酪農教育ファーム実施計画</li> </ul>
5月20日	サンポートホール高松 5F 会議室	
集送乳業務等意見交換会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生乳流通合理化促進事業</li> <li>・四国地域の集送乳合理化計画の策定等</li> </ul>
5月22日	喜代美山荘花樹海	
平成26年度決算監査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度決算監査</li> </ul>
6月4日	四国生乳販連 会議室	
第1回監事会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・27年度監査計画</li> <li>・監事会運営規則の一部改正</li> <li>・26年度監査報告書及び監査調書の策定</li> </ul>
6月4日	四国生乳販連 会議室	
役員会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生乳の直接利用要請の件</li> </ul>
6月13日	アルファあなぶきホール	
第1回理事会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第33回臨時総会の招集並びに附議事項</li> </ul>
6月18日	四国生乳販連 会議室	
役員推薦会議		<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員候補者の件</li> </ul>
6月29日	四国生乳販連 会議室	
第33回臨時総会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員欠員に伴う補欠選任</li> </ul>
7月10日	アルファあなぶきホール 特別会議室	
第2回理事会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第15回通常総会の招集並びに附議事項</li> <li>・26年度事業報告及び剰余金処分案</li> <li>・26年度決算監査報告</li> <li>・役員欠員に係る補欠選任及び役員の順位</li> <li>・役員に対する退任慰労金支出並びに慰労積立金取崩し</li> <li>・中央団体役員等選任</li> <li>・生乳受託販売委員の任命</li> <li>・理事会運営規程の一部改正</li> <li>・加工原料乳生産者経営安定対策事業業務方法書例及び業務運営細則の一部改正並びに当事業に係る拠出金単価</li> <li>・26年度四国乳業(株)の事業概況並びに取引に係る対応措置</li> <li>・債権管理要領に基づく信用限度額の設定</li> </ul>
7月10日	アルファあなぶきホール 特別会議室	

会 議 名		協議内容・報告事項
開催月日	場 所	
第 15 回通常総会		• 26 年度事業報告及び剰余金処分案承認
7月27日	アルファあなぶきホール 大会議室	
第 55 回生乳受託販売委員会		• 生乳受託販売委員の任命 • 生乳取引をめぐる情勢等 • 直接事業利用申し出等 • 27 年度の「特色ある生乳」の取り纏め結果 • 集送乳経費の精算処理等 • 27 年度季節別乳価の設定 • 自民党生乳流通・取引体制等検討 WT による提言等
8月3日	サンポートホール高松 5F 会議室	